

9月定例会運営方法変更に関する議員アンケート集計結果

1 資料要求について

【問1】 資料要求書提出からヒアリング、要求決定まで時間を持たせたことについて	良かった 改善を要する その他()	8件 1件 件
その他 自由記入:		
【問2】さらに改善した方が良いと思われる点は？		
○理事者側の問題であるが、資料準備の方法を徹底しておく必要がある。資料要求提出日が決定した段階で、いつどこに提出するかを決定しておくべきであった。また、誰が印刷するのか、番号はいつ付与されるのかまで決めておけばよりスムーズに準備できると思われる。		

2 予算決算委員会各分科会について

【問1】予算・決算審査をこれまでの特別委員会から予算決算委員会の各分科会へと変更し、原則全議員が審査に加わったことについて		
①全般的に有意義であったと感じましたか？	はい いいえ その他()	7件 1件 1件
その他 自由記入: ○分科会に振り分けられたことにより担当以外の議案を審査できなかった。さらに試行を続けるべき		
②審査内容に変化はありましたか？	あった なかった その他()	9件 件 件
その他 自由記入: ○担当の議案は、深く審査できた		
【問2】分科会の質問調整について		
①時間に余裕ができたと感じましたか？	はい いいえ その他()	7件 1件 1件
その他 自由記入: ○開催日の早い分科会では、時間的に余裕があるとは言えなかった。		
②質問調整に問題はありませんでしたか？	はい いいえ その他()	9件 件 件
その他 自由記入:		

【問3】分科会の質問時間について		
①質問時間は適正でしたか？	適正 長い 短い その他()	4件 件 5件 件
その他 自由記入:		
②要求した資料を使って質問ができましたか？	はい いいえ その他()	5件 2件 2件
その他 自由記入: ○今回は、資料要求をしなかった。		
【問4】分科会審査についてさらに改善したほうがよいと思われる点は？		
<p>○総合政策部長及び総合政策課長に全ての分科会に出席頂いたが総務分科会以外では質問が無かったので次回からは出席の必要は無いと思われる。</p> <p>○財政課長に全ての分科会に出席頂いたが、総務委員会以外ではほとんど質問が無かった。全ての施策は予算決算に関わるので、質問の視点を歳入歳出にもより多く向ける習慣づけが必要である。</p> <p>○今回、ほとんどの分科会の質疑時間／一人が30分程度で時間を決めていたが、委員との調整で一人の持ち時間を分科会ごとで割り当ててもよかったのではないかな。</p> <p>○理事者の負担を考慮し(通常業務に支障をきたさないよう)、出席して頂くか否かはその都度検討が必要かと思えます。</p> <p>○だいたいどの分科会も質問時間一人30分くらいだったと思うが、部門別常任委員会を別の日にするなどして、1日分科会を開くなどして、分科会の質問時間をのばせないか。</p>		

3 各部門別常任委員会について

【問1】		
同日に分科会と部門別常任委員会審査を実施したことについて	良かった 改善を要する その他()	6件 2件 件
その他 自由記入:		
【問2】部門別常任委員会の質問時間について		
①質問時間は適正でしたか？	適正 長い 短い その他()	5件 件 2件 1件
その他 自由記入: ○基本的に時間制限すべきでない。		

【問3】部門別常任委員会審査についてさらに改善した方が良いと思われる点は？

- 付託議案以外の質問が目についた。
- 議案が無い部局は出席の必要が無いと思われるので改善すべきである。
- 議案外の質疑があったので、今後は改めるべきである。
- 会期中の委員会は付託議案のみの審査とし所管事務関連については閉会中の委員会審査とすること。
- 付託議案のない部は出席しないこととする。ただし、付託議案の関連質疑を行う場合は、当該部局の答弁者の出席をもとめることとする。
- 理事者の負担を考慮し(通常業務に支障をきたさないよう)、出席して頂くか否かはその都度検討が必要かと思えます。
- 直接の質疑がないことが明らかな場合、理事者の出席は関係ある部のみの出席でよいのでは。

4 予算決算委員会の総括質疑について

【問1】総括質疑について

①分科会質疑から総括質疑までの時間に余裕があったと感じましたか？	はい	5件
	いいえ	2件
	その他()	1件

その他 自由記入:

- 分科会の開催順によっては余裕が感じられなかった。
- 分科会の開催順によると思います。

②会派・無所属議員が総括質疑ができることについて？	良かった	6件
	改善を要する	1件
	その他()	件

その他 自由記入:

【問2】総括質疑の質問時間について

①質問時間は適正でしたか？	適正	6件
	長い	件
	短い	1件
	その他()	1件

その他 自由記入:

- 基本的に時間制限すべきでない。

【問3】総括質疑についてさらに改善した方が良いと思われる点は？

- 代表質問、一般質問、分科会質疑、常任委員会質疑と総括質疑とは性質が異なると思われるが、区別がつかないよう感じられた。付託された議案に限ること、さらに分科会や委員会質疑で不明確であったものや部局をまたがって市長に判断を述べてもらう必要のあるものに限定すべきである。
- 予算決算に無関係の質疑もあったように思いますので、今後周知徹底し予算決算に関することのみに限った方がよいのではないのでしょうか。

その他ご意見

- 資料要求について
自分の所属以外の所管事項に関する資料も請求できることが周知されていなかったと思われます。周知すべきと考えます。(委員会・分科会)
- 全体的に
9月議会での試行だけで判断できないこともあると考えます。今後、続けていく中で改善点を発見したり、有意義さを感じることができるのではないかと考えます。
- はじめての実施にもかかわらず、スムーズに進んだと思う。
- 会計資料を第2委員会室に用意されていたが、活用した議員はゼロであったとのことである。これらの資料は会計課および当該課でも参照できるため、次回より取りやめるべきである。
- 分科会と常任委員会を1日で行ったが、結果的に午後3時前後には終了した。
分科会質疑の一人あたりの持ち時間を次回より伸ばすことが可能であると思われるので、あらかじめ時間調整を行い、十分な質問時間を用意すべきである。また、質問を取りやめた議員が発生した場合は、その時間を別の議員に割り振るべきである。
- 資料要求により提出された資料は今後はCDで配布するなどによりコスト削減にも努力するべきである。
- 総括質疑については、今後の議会運営から考えると決算認定と予算審査される9月定例会と3月定例会で行うのが望ましい。
- 今回の試行からの反映点として、会期の有効性を鑑みて分科会、常任委員会の同日並行審査を検討されたい。
- 各分科会、委員会に要求された資料の配布先は当該委員でいいと考える。
- これまでと比べより丁寧な審査ができたと思います。
しかし初めての取り組みだったこともあり、ルールが守られていない場面も多々あったように思いますので、改めて周知をお願いいたします。(予算決算とは関係のない質問や、議案内容から乖離した質問は控えるべき)
各部門別常任委員会においては、委員会によって議案数が異なり、時間的な検討が必要。また分科会においても同じことが言えますが、質問する議員数によって一人当たりの時間に差が生じます。
ホームページで委員会日程(質問者)を公開していることもありますので、当日の質問取りやめは原則禁止にすべきではないでしょうか。(事前に質問無しとわかっていたら、一人あたりの質問時間を延長することができます。)
- 会期を多くとって分科会と常任委員会を別の日に開催したり、公営企業の審査は別の日にするとか、全体として、質問時間を多くとれるように改善が必要では。
- 質問時間に答弁の時間を含めないようにする。

※議員アンケート実施要領

期間:平成24年10月4日～15日

対象:5会派及び無所属議員8名

回答数:4会派・無所属議員5名